



LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成28年1月号

あけまして おめでとうございます



今月のオススメ

《オール1の落ちこぼれ、教師になる》 著者：宮本 延春

中学校を卒業したときの学力は、国語の漢字は自分の名前が書けるだけ、数学は九九が二の段までしか言えず、英語は book しか書けないというひどい状態でしたから、担任の先生から、「こんな成績で行ける高校はないな」とあっさり見放され、就職へと引導を渡されてしまいました。

(本書「はじめに」より)

16歳で母親を亡くし、病気の父親と二人暮らし。家計を助けるために、毎日必死で働いたそうです。その父親も18歳のときに亡くなり、天涯孤独の身となります。職を何度も変え、生きていて何が楽しいのかと悶々とする日々……。

23歳のとき、たまたま借りたビデオで『アインシュタインの相対性理論』に出会います。それがきっかけとなり、物理学を本格的に学びたいという気持ちになっていったそうです。「小学3年のドリル」を購入し独学で勉強を始めます。24歳で定時制高校に入学し、3年後には名古屋大学理学部へ現役合格。近年、ノーベル賞受賞者を複数輩出している名門大学ですよ。

少なくとも、10代のときの宮本さんよりも総合生の皆さんの方が学力は上です。人は努力次第で変わることができるんですね。昨年の7月号で紹介した『学年ビリのギャルが1年で偏差値40上げて慶応大学に現役合格した話』もそうですが。新年を迎え、何か目標を立てましたか？ 目標や自分の夢を実現するためには何が必要か？ そんなことを教えてくれる本です。



～図書館からのお願い～



冬休み前に本を借りた人は、早目の返却をお願いします！

3年次生で図書館から本を借りたままになっている人は速やかに返却してください。
3年次生はまもなく期末考査が始まります。その後自宅学習に入りますので、学校へ来るのもあとわずかです。1・2年次生についても、3年次生同様2月末までに、借りている本を一旦図書館へ返却してください。借りた本は必ず返してから卒業式・終業式を迎えましょう♪

※借りた本を破損したり、なくした場合は司書の吉田茉耶先生まで申し出てください。



今月のオススメ 総集編

発行月	タイトル・著者	図書委員から一言
5月号	鹿の王 ⇨ 上橋 菜穂子 	〔守り人シリーズ〕や〔獣の奏者エリン〕などを、読んだことがある人は尚更、読んでいない人でも著者独特の世界観に取り込まれ“共に生きる”気分になると思います。 (KK)
6月号	ブルータスの心臓 ⇨ 東野 圭吾 	タイトルにあるように、ブルータス = 裏切りの物語です。殺人計画書にあるもう1人の“D”とは誰なのか？最後まで誰なのか私にはわかりませんでした。とても引き込まれる内容なので、是非読んでいただけたらと思います。 (KM)
	青 鬼 ⇨ 黒田 研二 挿画：鈴羅木 かりん 原作：noprops 	元々は、ホラーフリーゲームのお話だったのですが、ゲームにはなかったキャラも登場して、更に話が濃く、面白くなっています。読み進めていくと、「えっ！」と驚き、ページを戻してしまうシーンもあり、不思議な気持ちになれます。 (KN)
夏休み号	精霊の守り人 ⇨ 上橋 菜穂子 	上橋さんの本の良さは圧倒的な世界観です。ファンタジーという言葉ではおさまりきらない壮大な物語は読めばどっぴりとその世界にハマることができます。守り人シリーズは番外編を含め全 12 巻あるので読み応え抜群です。ぜひ読んでみてください。 (MS)
9月号	ふたり ⇨ 赤川 次郎 	2人の姉妹のほろ苦い青春ファンタジー。せつなさあり、面白さあり、サラッと読みやすく、じんとくるものがあります。素敵なお話なので読んでみてください。 (OR,YN)
10月号	エヌ氏の遊園地 ⇨ 星 新一 	星新一の奇想天外なショートショート31編を収録。特にお勧めなのは、「昇進」と「逃走の道」です。何回読み返しても飽きの来ない話の構成、クセのある登場人物の話し方。とても短い物語なので、休み時間に手軽に読めるおすすめの本です。 (YH)
11月号	伏 鷹作・里見八犬伝 ⇨ 桜庭 一樹 	「伏」が何を思って凶悪犯罪を犯していくのか？「伏」というだけでなぜ殺されなければならないのか？「伏」に情が移ってしまう物語です。 (OY,SY) ※「伏」とは、人であって人でなく犬の血が流れる異形の者

※図書だより『LIBRARY』で毎月紹介していた図書委員の“今月のオススメ”です。ぜひ、読んでみてください。